

令和6年度まちづくり推進住民会議「全体会議」記録書

1. 日 時 令和7年2月22日（土）午前10時00分～11時29分

2. 場 所 エコーセンター2000 エコーホール

3. 出席者 ○一般出席者 75人（別紙名簿のとおり） ※前年度76人

○網走市出席者 21人

（市長、副市長、教育長、企画総務部長、市民環境部長、
健康福祉部長、健康福祉部参事監、観光商工部長、農林水産部長、
建設港湾部長、新庁舎開設準備室長、水道部長、学校教育部長、
社会教育部長、消防長、財政課長、生活環境課長、廃棄物広域化処
理推進室参事、企画調整課長、広報広聴係長、広報広聴係主事）

※下線は説明・発言者

○町連出席者 8人

合計 104人（前年度107人）

4. 会議内容

(1) 開 会 網走市町内会連合会事務局次長（司会者）

(2) 挨 拶 町内会連合会会長 10:00～10:03

網走市長 10:03～10:06

(3) 会 議

【説 明】

①令和7年度予算案の概要について（10:06～10:31）

意見交換（10:31～10:45）

②ごみ処理の広域化と最終処分場の状況について（10:45～10:52）

意見交換（10:52～11:08）

③新庁舎の開庁について（11:08～11:11）

意見交換（11:11～11:18）

④全体を通しての意見交換（11:18～11:28）

(4) 市長まとめ挨拶（11:28～11:29）

5. 質疑など

(1) 令和7年度予算案の概要について

①東京農大と日体大高等支援学校の補助金について

(参加者)

東京農大の学生確保対策に170万円とのことだが、昨年から30万円ほど減額している理由を聞かせてください。

また、日体大高等支援学校に対する入学支援補助金は600万円で続けており、学生の確保対策に1,640万円も計上しています。この事業は、令和6年度は4,300万円、令和5年度は4,600万円、令和4年度は5,200万円計上されています。これだけ補助してきたのに、今年は極端に減っているのは、桂陽高校の提言や、11年間で約8億円補助しているとの報道の影響からなのかを説明してください。

(市長)

日体大高等支援学校については、ご寄付いただいたものを予算計上しています。学校の設立にあたり、全国の方から、目的を明確にした上でいただいたご寄付を、意向に沿うようそのまま計上しています。

(企画総務部長)

農大については、保護者が市民の場合は入学時に1人あたり20万円を給付するものですが、対象になる方の人数が予算に達しないので、若干減額したものです。毎年予算は足りています。

日体大高等支援学校については、定数を40人と予算を確保しています。今年は40名確保できそうとの情報を得ていますので、上限額を予算としています。

また、網走市が誘致した際に、障がいのあるお子さんのための学校を作るという取り組みに対して、寄付をいただきました。特定の寄付者とどのような使い方が良いか話し合い、他の学校と比べると高額になっていますが、一般財源を使っているということではありません。

報道については、全く影響ありません。

(参加者)

減額については理解できるが、今年の減額を日大側に理解を得ているのかを知りたいと思います。市長の肝いりで誘致したので、理事長に敬意を払い、このような補助をしてきたのですか。

(市長)

ご意見にありました理事長の影響でというのは全く違います。支援金の原資は、全国の賛同していただいた方からの寄付金で賄われています。

(企画総務部長)

日体大高等支援学校の誘致は平成25年度に事業が始まっています。学校開設や裏にある直線走路の施設への支援が約5億6千万円で、この内、国の補助金が1億3千万円程度となっています。その後、コロナ禍もあり、PRが必要ということで、特定の寄付者の方からご寄付いただき、それを原資として約1億6,100万円を、学校の運営支援や入学者の増につながるよう、寄付者の意向に沿って使っております。今年減ったのは寄付が減ったということです。当然学校とやり取りしていますが、そこは承知いただいています。

(参加者)

ある程度理解はできるのですが、日体大高等支援学校の生徒が卒業しても、網走には就職や活動の場がないが、農大は、卒業者が色々なかたちで就職するなど網走に繁栄をもたらしている。そんな中でわずか30万円を削るなんてと思います。せめて従来どおりの200万円としてはどうでしょうか。

(市長)

単価を削った訳ではなく、実態に即して計上したので、ご指摘には当たらないかと思えます。

(2) ごみ処理の広域化と最終処分場の状況について

②建設予定地の取り止め、生ごみ処理方法の変更、費用などについて

(参加者)

盛り土層が確認されたとありますが、周辺に長年住んでいる方もいるのに、なぜわからなかったのか全く理解できません。これまでに1億2,000万円も市税が使われた。

また、市民の努力で、今、生ごみの堆肥化が70%以上できている状態なのに、今度は広域化で生ごみまで燃やしてしまうとのことですが、ごみを出さないようにしていくのがこれからの世界の流れだと思うが、逆行しているのではないのでしょうか。

3つ目にメタンコンバインド方式ということだが、どれだけの期間、将来に渡ってどれだけ維持管理費がかかるのか説明してほしいです。

4つ目に評価委員会を設置とあるが、これまでなかったものなのか、何をするものなのか説明してほしいと思います。

(市長)

広域で進めてきた候補地について、11月に盛土層であることがわかり、今後の進め方を1市5町の首長で話し合った際に、どれほどの時間とコストがかかるかわからないということになり、大空町長から白紙撤回の申し出がありました。

このことにより中間処理施設の建設が遅れることは事実ですので、市民の皆さんにご心配をおかけしたことに、お詫びを申し上げたいと思います。

ごみの問題は日々の問題ですので、早急に解決していかなければならないと考えております。

(市民環境部長)

先にどうしてわからなかったのかということですが、この土地については大空町が設定し、協議会で選定しましたが、土地の地歴の情報が少なかったところでは、建設の残土が捨てられていたということで、廃棄物が大量に捨てられたりしたところではないという想定で進めていたのは事実です。水質調査で地質の一部を見たところでは問題なく、そのまま宅盤をどこまで広げられるか確認した上で、地質調査したところ、廃棄物が一部埋まっているという結果が出ました。地山が斜面になっていたところも、木や草が茂っており、その下の急斜面に気づかなかったというのが事実です。

堆肥化については、現在75%くらいを堆肥として活用しています。一方で、作られた堆肥の活用先が中々ない、また、分別が多すぎるという声も多いことから、1市5町では、焼却施設にメタン発酵施設を加え、可燃ごみに生ごみを混ぜて排出されたものを集めた後に、自動選別器で発酵できないものを取り除いて、メタン発酵でガス化して、発電しエネルギー化していく、残さを水を絞って焼却する方法を検討しているところです。現在、堆肥化しているのは網走市、大空町、斜里町、小清水町の1市3町ですが、分別が1つ減るということで、分別が多いという課題の解決策となるのではということでも検討しています。まだメタンコンバインドで決まってはいませんが、収集する作業員の確保が厳しい中、分別を減らすということは作業員の労力を減らすことにもつながります。

評価委員会は、大空町の候補地が取りやめになりましたので、1市5町でそれぞれ建設候補地を出し、選定していくことになり、どこが一番良いのか、今度は第三者の評価を得た上で、1市5町で決めるために設置するものです。

(参加者)

メタンコンバインドに決まっていけないとのことなので、試算されていないのかもしれませんが、もしそれでいくとしたら、少なくとも定期検査はあるでしょうし、高額な焼却施設ですから、どういう費用がかかって何年くらいかかるのか、どのくらいメーカーに収益があるのか説明できますか。

(市民環境部長)

費用については、先の候補地のまま進めば、皆さんに説明できるタイミングでしたが、メーカーに見積もっていただく段階で止まってしまいましたので、まだ出せていない状況です。

(市長)

白紙になったので、予算がどのくらい必要かは場所にもよりますので、場所が決まってからということになります。中間処理施設を作り、将来的にどのくらい費用がかかるのか、今後のイニシャルコスト、ランニングコストをしっかりと出せるよう努めていきたいと思います。

(参加者)

各市町で候補地を出すということは、網走も候補地を出して、住民合意を含めて調査するということですね。

(市長)

今、公有地で14,000平米あるところを出してくださいということになっています。適地かどうかはその先の話で、それを第3者評価委員会に提出し、絞り込まれた後、住民の皆さんに伺うことになります。

(市民環境部長)

地名が上がりますと、色々なお考えがありますので、慎重に進めていきたいと考えております。

(3) 新庁舎の開庁について

③旧庁舎の備品、新庁舎開庁記念事業について

(参加者)

内覧会に行ったところ、古いものは一つもありませんでした。現在使っている市の備品はどのように処理するのか聞かせてください。不要な備品は市の職員が持って帰っても良いというところでもない噂があります。

また、新庁舎開庁記念事業569万円とあるが、昨年172万円と合わせて741万円が計上されているが、どのように計画するつもりなのか具体的にわかれば説明してください。

(新庁舎開設準備室長)

内覧会時には、新しいもののみでしたが、現在、引っ越しで旧庁舎から利用できる備品を運んでいます。旧庁舎に残った備品は、今後、社会教育施設などの市の他の施設が必要なものを再利用します。その後、準公益団体に見ていただいて、再利用していただきます。その後、市民の方へ内覧会を開催しご利用いただくことを現在のところ考えています。市の職員が持って行くということはありません。

開庁記念事業は、開庁後、7月上旬までに、6回ほど各種イベントを予定しています。

(4) その他

④旧庁舎の今後について

(参加者)

旧庁舎を今後どうするのか考えを聞かせてください。

(市長)

最低1年は残ると思いますが、新庁舎は国の起債を当てて建設していますので、5年以内には更地にしなくてはならないというルールがあります。旧庁舎跡地については、都市機能誘導構想で有識者から答申をいただいています。さまざまな国の公共施設も60年近く経過する施設が多く、国の施設を集約する候補地として扱うとのご提言をいただいています。今後、国と協議して検討してまいりたいと思います。

⑤どこバスのバス停追加について

(参加者)

バスを利用しています。朝の高校生の通学時間は数本ありますが、日中はどこバスで病院や市役所に行っています。最近、どこバスに乗っている方が多いです。電話かLINEで予約をするが、親切丁寧に教えてくれ、そんなに待たなくても来てくれて、大変ありがたく思っています。

私はリハビリのため、駒場の整骨院に通っているのですが、バス停を増やすことはできるのでしょうか。病院はすべて停留所になっていますが、整骨院はなっていません。整骨院の患者はほとんどが高齢者なので大変です。整骨院も停留所にしてもらえないか検討してほしいです。

(観光商工部長)

どちらの整骨院に通われているのか、後ほど教えていただければと思います。実際の場所を、網走バスさんと市で、バス停として利用できる場所か確認した上で決定したいと考えております。

以上